



認定部門 育児・介護休業制度充実部門

医療法人社団 徳成会 八王子山王病院



働き方を見直すいきいき職場を応援!

ワークライフバランスフェスタ東京2011



WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2011

R100

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



医療法人社団 徳成会 八王子山王病院

会社概要

会社名	医療法人社団 徳成会 八王子山王病院
代表者名	中村 隆俊
創立(創業)	1988年12月
所在地	八王子市中野山王 2-15-16
TEL/FAX	042-626-1144 / 042-622-9588
従業員数	290名
URL	http://www.tmg.or.jp/hachioji/



事業内容

戸田中央医科グループ理念：

愛し愛される

八王子山王病院理念：

思いやりのある あたたかい医療

診療科：

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、外科、整形外科、乳腺科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科

関連施設：

戸田中央医科グループは、一都四県下に25病院と6つの老人保健施設のほか、クリニック、健診センター、訪問看護ステーションなど、数多くの関連事業所を展開。グループ内で地域医療ネットワークを形成しています。グループ内の医療機関・施設では、現在、総勢10,000人を超える職員が働いています。



認定部門 育児・介護休業制度充実部門

目的・理念

ライフステージにあった勤務形態により可能性を広げること で人材の確保、定着

八王子山王病院は「思いやりのある あたたかい医療」を理念に掲げ、地域の皆様より信頼され頼られる病院を目指し、少しでも利用しやすい病院となれるよう、職員一同、日々努力をしております。医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、診療放射線技師、管理栄養士、社会福祉士、理学療法士、臨床工学技士、事務職員のすべての職員が、それぞれの専門分野において日々の精進と個々の患者様への最適な医療サービスを心掛けております。ひとりの力では患者様に100%の医療サービスは成し得ないのですが、八王子山王病院は、各分野のプロ意識を最高度に高めてサービスを提供し、組織医療、チーム医療の完遂を目指しております。その最前線を担う職員の意欲の向上や健康の増進はサービスの質を左右する課題です。その為、ライフステージにあった勤務形態の可能性を広げること
で人材の確保、定着への効果も期待しております。



取組内容

院内保育室の設置（看護師・准看護師向け）

- 病院との一体的な運営により、急な勤務の変更にも柔軟に対応。出産後の職場復帰への安心感につながっている。また、病気の為、普段通っている保育園に登園できない時は、病児保育を行っている。

育児短時間勤務制度の拡充

- 育児短時間勤務の対象を小学校就学前まで拡充。

再就職支援セミナー

- 出産後に、再就職を希望する方の不安を解消する為に、対象者に再就職支援セミナーを開催。出産後の職場復帰への不安を解消。

メンタルサポートシステム

- 看護職員に対して、心理療法士によるサポートを行っております。

働きながら広がる可能性

- 結婚、スキルアップなど個人の希望に合わせ、キャリアを継続できる環境。
- 目標がかわったり、家庭環境がかわったり、スタッフひとり一人の変化に対応できるネットワーク力。

仕事の進め方の見直し

- 各部署の時間外労働の集計分析による時間外労働の縮小
- 就業時間内での会議実施など会議運営上のルールの設定
- 就業時間内での職場内研修（薬品や医療器具の知識など）の実施



認定部門 育児・介護休業制度充実部門

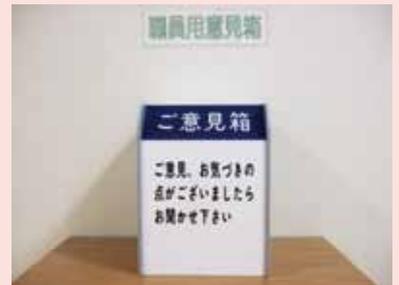
実現のポイント

業務改善

- 業務改善は部署ごとに取り組んでいるが、時間外労働の削減など、全体で統一すべき事項については、各部門の実施状況を把握・分析し、会議を通じて結果をフィードバックしている。各部署においては、随時行われるミーティングや申し送りノートにより、職員各々へ伝達を徹底している。

利用しやすい環境の整備

- 制度自体はもちろん、利用しやすい環境作りを心掛けている。
- 職員の意見を取り入れる為に意見箱を設置し、広く意見の聴取を行っている。



従業員の意見

職場への効果

- 育休後すぐに働くことができ、子供の体調が悪い時も安心して働ける。
- お互いに子育ての悩みを相談でき、コミュニケーションをはかることができる。
- 子供のいない人への負担が減った。

会社の姿勢や方針について評価できる点

- 突然の勤務変更や、子供の体調が悪い時など、病院側が臨機応変に対応してくれる為、子供を持つ親への心遣いが感じられる。

生活や働き方への影響

- プライベートと仕事とのバランスが取れ、仕事への意欲に繋がった。
- 家族への負担が軽減された。

職場での周知方法

- 入社時に、制度・利用の実例について説明を受ける。
- 各種伝達事項については、部署単位での連絡ノートを作成し、周知している。

